

R7 年度 千葉市立真砂中学校かがやき分校 学校評価アンケート結果

【生徒アンケート】

No.	質問項目	平均値
1	授業の内容を理解できたか。	2.9
2	楽しく学校生活を送ることができたか。	3.1
3	なるべく、欠席・遅刻・早退をせずに過ごすことができたか。	3.0
4	授業中、タブレットなどを使い、自分に合った方法で学習できていたか。	3.1
5	友達と意見を交換することで、自分の考えが深まったと感じたことがあったか。	3.0
6	難しい課題でも、「やってみよう」という気持ちで取り組んでいたか。	3.2
7	先生は、自分の頑張りや変化に気づいてくれていたと思ったか。	3.3
8	わからないことがあった時、いつでも「助けて」と言える雰囲気があったか。	3.3
9	自分の成長（以前よりできるようになったこと）を実感できていたか。	3.4

【評価基準】

- 4: そう思う
- 3: ややそう思う
- 2: あまりそう思わない
- 1: そう思わない

アンケート結果から、ポイントが最も高かったのは、「9 自己成長の実感」である。夜間中学で学んでいる生徒たちは、学び直しや日本語習得、社会参加の再構築など、多様な目的をもって在籍している。そのため、学習を通して「以前よりできることが増えた」「自分の成長を実感できた」と感じられることは、生徒にとって大きな意味がある。また、本校の教育活動は少人数指導や個別支援を重視しており、生徒が小さな成功体験を積み重ねやすい環境が整っている。こうした学習環境が、自己肯定感の向上や成長実感の獲得につながったと考えられる。以上のことから、「自己実現の実感」が高評価であったことは、かがやき分校が生徒一人一人の成長を支え、自己肯定感を回復・向上させる場となっていることを表す結果である。

ポイントが最も低かったのは、「1 授業内容の理解度」である。その理由として、授業は日本語で行われる場面が多く、普段つかっている日本語だけではなく、学習していく上で必要な言語の習得に難しさがあると考えられる。この項目を高く評価した生徒の他の項目との相関を見ると、自分に合った学習方法を取り入れていた生徒や、教師からの働きかけを肯定的に受け止めていた生徒は理解度が高い傾向が見られた。これらのことから、学習者に適した学び方の支援と教師との良好な関係づくりが、授業理解の向上に寄与すると考えられる。授業では、電子黒板やギガタブを活用しながら、理解度を深めようと取り組んでいる先生方も多く、この姿勢を継続させ、わかる授業を展開していきたい。